

[B] アジア・太平洋戦争

| 太平洋戦争 | | 政治・外交 | |
|---|---|--|--|
| 東条英機 (陸軍大将) | 1941.12.8 真珠湾攻撃 (アメリカ太平洋艦隊の主力を壊滅) | [皇民化政策 (「内鮮一体」を提唱した朝鮮人への同化政策)] | |
| | 1941.12.8 マレー半島上陸 (イギリス東洋艦隊の戦艦を撃沈) 太平洋戦争勃発 (戦争中の日本では 大東亜戦争 と称された) ★戦争の目的として「 大東亜共栄圏 」の建設」を発表 →欧米勢力の植民地支配からアジア諸民族の解放を掲げる アジアへの侵略政策を正当化するためのスローガン cf. 大西洋憲章 (連合国が発表した第二次大戦の戦争目的) | ① 神社参拝の強要 (1937) (朝鮮神社への参拝) 日中 ② 日本語常用の強制 (1938) (朝鮮語教育の廃止) 戦争 ~ ③ 創氏改名 (1940) (朝鮮人を日本式氏名に改姓させる) ④ 徴兵制の実施 (1943~) ★台湾では1944年から実施 ⑤ 朝鮮人の強制連行 ex. 慰安婦 (日本兵への性奉仕) 中国人強制連行も ex. 花岡事件 (1945) →秋田県で大量殺害 | |
| | 1942.2 シンガポール占領 (イギリス軍守備隊が降伏) → この勢いに乗じて、議会で 軍部の勢力も確立しよう | 1942.4 翼賛選挙 (第21回衆議院議員総選挙) 大政翼賛会の推薦する候補者466名中 381名 が当選 →当選した議員が 翼賛政治会 (1945年に 大日本政治会) 結成 =事実上の一党一党体制が成立 | |
| | 1942.6 ミッドウェー海戦 (空母などの壊滅的打撃を受け敗北) →制海権・制空権を失い、これ以降戦局は不利に転換 | 1943.9 イタリア降伏 (無条件降伏を受諾) | |
| 1942.8~ ガダルカナル島戦 (1943年2月に日本軍が撤退) | 1943.11 大東亜会議 (占領地域の代表者を集めた会議) 大東亜共同宣言を発表 (大東亜共栄圏の結束を強化) →アジアの団結を対外的に誇示するための会議 (大東亜会議の開催後に連合国が会談) 連合国の協力関係を誇示 | | |
| 1943.5 アッツ島の戦い (日本軍2500人が初の玉砕) → →のち、不利な戦局を開閉するため 大東亜会議 を開催 | [戦時体制] 学徒出陣 勤労動員 女子挺身隊 (文系大学生を召集) (学生を軍需工場に動員) (未婚女子を軍需工場に動員) | | |
| 1944.7 サイパン島陥落 → 内閣総辞職 サイパン島がB29を中心とした米軍機の日本爆撃の基地となる ★ 学童疎開 (学童を集団で地方に避難させる) が始まる →これ以降本土空襲が本格化するため | 1943.11 カイロ宣言 (大東亜会議開催後のカイロ会談で発表) ローズヴェルト (米)・ チャーチル (英)・ 蒋介石 (中) ★ 朝鮮の独立 、 満州 ・ 台湾 ・ 澎湖諸島 の 中華民国 への返還、 南洋諸島 の 委任統治権 剥奪など日本の領土問題方針を協議 | | |
| 小磯国昭 (陸軍大将) | 1945.2 硫黄島の戦い (日本軍2万人が玉砕) | 1945.2 ヤルタ協定 (クリミア半島のヤルタ会談で成立) ローズヴェルト (米)・ チャーチル (英)・ スターリン (ソ) ★ 秘密協定 で 南樺太 ・ 千島列島 の ソ連 への引き渡しを条件に ドイツ降伏 後から2~3ヶ月以内の ソ連の対日参戦 を了承 | |
| | 1945.3.10 東京大空襲 (B29爆撃機による焼夷弾爆撃) | 1945.5 ドイツ降伏 (無条件降伏を受諾) | |
| 鈴木貫太郎 (海軍大将) | 1945.4 沖縄上陸 → 内閣総辞職 鉄血勤皇隊 (男子の戦闘要員)・ 女子学徒隊 (女子の看護要員) ex. ひめゆり隊 (沖縄師範女子部・県立第一高女の看護隊) | 1945.7 ポツダム宣言 (ベルリン郊外のポツダム会談で発表) トルーマン (米)・ チャーチル (英)・ スターリン (ソ) →のち アトリー (総選挙の保守党圧勝による) ★ ローズヴェルト の死去(1945.4)により副大統領から昇格 ① 軍国主義の除去 ・② カイロ宣言 に基づく日本の領土制限 ③ 戦争犯罪人の処罰 (民主主義の復活・ 基本的人権 の尊重) ④ 米 (トルーマン)・ 英 (アトリー) 中 (蒋介石) 3国の名で 日本国軍隊への無条件降伏 を勧告 (→日本政府は黙殺) まだソ連は対日参戦していないので署名せず | |
| | 1945.6 沖縄占領 (→日本軍による住民への集団自決の強制) | | |
| | 1945.8.6 広島原爆投下 (ウラン型) | | |
| | 8.8 ソ連の対日参戦 (満州国・南樺太・千島列島などに侵攻) ヤルタ協定 に基づきソ連が侵攻 (ロソ中立条約 を破る) ★ シベリア留 (日本軍兵士・民間人が収容所で強制労働) 中国残留孤児 (中国人の養父母に育てられた日本人孤児) | | |
| | 8.9 長崎原爆投下 (プルトニウム型) | | |
| 8.14 ポツダム宣言 受諾 (御前会議で最終決定) →終戦の詔書 (天皇が詔書を録音し、翌日にラジオ放送) | | | |
| 8.15 玉音放送 (天皇が戦争敗北を国民へ伝える) → 内閣総辞職 | | | |
| 東久邇宮稔彦 (皇族) | 1945.9.2 降伏文書調印 (東京湾停泊中の米艦艦 ミズリー 号上で調印) 全権 = 重光葵 (外相)・ 梅津美治郎 (参謀総長) ★以降、 サンフランシスコ平和条約 (1951) が発効される 1952年までの 7年間 、連合国による占領政策が行われる | [戦時中の文学] 火野葦平 『 妻と兵隊 』 (1938) (日中戦争に従軍した筆者の小説) 100万部超のベストセラー となる 石川達三 『 生きてゐる兵隊 』 (1938) (日本軍の残虐性を描写) 発売直後に発売処分 となる | |
| | | | |

二・二六事件で襲われた

(敗戦処理内閣)